

渡辺巖太郎（まちだ新世紀）
問 市民は接種を受ければ
子宮頸がんを予防出来ると信じてしまう。しかしこのワクチンの効果は非常に限定的で全国的に想定外の副反応が発生している。政治主導の名の下に導入され、国から押し付けられる子宮頸がんワクチンの本当の効果と危険性を広く市民に周知させるべきだが。

市長 子宮頸がんのワクチンに限らず、予防接種に関して

ては正しい知識をわかりやすく情報提供することで、適切な接種が行われるよう、引き続き努めていきたいと思います。チラシの中に、副反応についての注意をしていますが、指摘の効果とか、将来の検診についてはまだ触れていませんので、新しい年度については、もう少しわかりやすい広報が必要かなとも感じており、事務方にはよく検討させたいと思います。

宮坂けい子（公明党）
都民の三人に一人は糖尿病が疑われ、未治療者や治療中断者が多い。かくれ糖尿病もあり早期発見や重症化予防対策の積極的展開を求める。

問 育休終了後にスムーズに保育所入所が出来るよう、三才未満の待機児対策を急げ
子ども生活部長 幼保連携型認定こども園を重点的に進め、家庭的保育者がマンショングンなどを借りた駅近の開所も何らかの方法で誘導したい。
間 孤立する高齢者を地域で支援しやすい条例制定を。
驚北副市长 条例の必要性についても前向きに研究していきたいと思います。

問 都市マスター・プランの改定で、本町田・薬師池地区に山崎町が繰入れられている。山崎は地縁・歴史・文化・地理的にも忠生地区と共に歩んできた。適切ではない変更だ
都市づくり部長 この地域区分が地域コミュニティーや市民生活を分断するものではありません。地域は鉄道、河川、道路などの地形地物、市街地開発の経緯、町丁名を壇

とし、地域の成形化や面的バランスを考慮し区分しました。問 割りは他の計画のものと違っている。都マスが上位計画だが、全て変更して強制するのか、都市づくり部長 都市計画に関連する各種計画においては、この都市計画マスタートップランの地域区分と整合を図ることが必要と考えていますが、他の各種計画の内容を拘束するものではありません。

熊沢あやり（志政クラブ）
問 町田地区の子どももセンターは平成二七年度開館とのことだが、地域センターの必要性をどう考えるか。
鷺北副市長 必要であるといふ認識は持っておりますが、検討していくたいと思っております。

すみれ会館も改修が必要、保健所の建物もかなり古い、こういうものを総合的に判断し用地が見出せるかも含めて検討する必要があると思います

問 多摩都市モノレール開通までバス等を代替交通として、走らせてみたらどうか。

都市づくり部長 モノレールに先立つて、バス交通を多摩市方面のモノレールルートを走らせるのは大変必要で大切なことと思っています。

川畑一隆（公明党） 教科書の推薦本ですら整備が不十分。教育委員会で整備すべき書籍一覧、司書派遣や図書指導員の身分・職務等の課題にしっかり対応せよとかについて、改めて検討していきたいと考えています。

北部丘陵担当部長 周辺農地の地権者の賛同を前提に関係者と協力して事業に取り組む必要があると考えています。

問 市は、異臭に苦しむ町田市民をどのように守るのか

環境資源部長 苦情等をいただいた場合には、すぐに現地確認を行い、事業場の所在地を所管する八王子市に連絡を入れています。施設の異臭改善に向けまして八王子市との連携を密にしていきます。

問 わたべ真実（民主党）社民・ネット
いじめ対策として他自治体でNPOによる授業が公民学校教育部長立中學で始まっている。町田市での導入の可能性はあるか
このプログ ラムを年間の指導計画にどのように位置づけるか、よく研究する必要があります。

いきいき健康部長 住宅改修アドバイザーやケアマネジヤー等の意見を聞きながら、民間ショールームとの連携や公共施設での展示方法を含め研究していきます。

問 細野龍子（日本共産党）
障がい者の重度訪問介護を実態に合わせ拡充すべきだが、どうか。

地域福祉部長 源を活用し、できるだけ多くの方に公平、公正にサービスを給付するために、利用者のニーズと個別の状況等を勘案した上で、一定の基準に基づき必要な支援をしていきたい。
問 不足する障がい者シートステイを増やしてはどう

か。
地域福祉部長 今後も障がい者のグループホーム、ケアホームの新設の際に整備していく方針です。

問 コミュニティバス成瀬ルートの運行継続を求める。

都市づくり部長 金森地区コミュニティバス運行協議会と連絡をとりながら、かわせみ号成瀬ルートの存続に向けた工夫をしていく考えです。

河辺康太郎(民主党・市民ネット) 市民協働は当然に時間と空間をかけて、市と市民が信頼関係を築き上げ育てていくものだと考えるが市の認識は。

市民協働推進担当部長 時 間をかけて信頼関係を築きながら進めていくという点では、そのとおりです。協働を推進していくグループを結成し、役割を複数の方々と分かち合っていきたいと考えます。

協働と公園駐車場の有料化は政策的な矛盾を抱えていると考えるが、市はどのように整理されているか。

市長 有料化について、組織の中で長い議論をした上で意思決定していることを理解いただきたいと思います。議会の議決をいたいたい後でも関係する皆さんと話し合いの場を持つて理解いただくこと必要だと考えています。

間 町田駅前に乳幼児連れの親子が休憩できる多目的スペースや授乳室等の整備を。子ども生活部長 授乳及びおむつがえのための施設設備赤ちゃん・ふらっとの設置を。今後、公共施設などを中心に促進していきたいと考えております。

市民部長 コミニニティセンターの会議室のような貸し出しの施設として活用ができるかどうか検討をしてみたいたいと思っています。

問 学校給食のアレルギー対応マニュアルを作成し、給食アレルギー対策の強化を。

学校教育部長 給食における食物アレルギー対応のマニュアルを作成中です。マニュアルは新学期までに各学校に配付予定です。

佐藤和彦 民主党・市民・ネット会員

問 今までの自殺防止対策における取組状況・実績と今後重視していく課題は何か。

地域保健担当部長 ゲートキーパー養成講座を開始し、いのちの電話等を網羅した悩みの相談先一覧を配布しています。今後は様々な機関との連携が必要と考えています。

問 社会的な取組を推進していくために、地域や民間団体などのように連携していく

の
地域保健担当部長　白殺縫
合対策基本方針の策定を進め
ています。策定後は連携のた
めの連絡協議会を設置してい
きます。

問 上野孝典（公明党）
南大谷の都市計画道路建設が進んでいない。小田急線との交差を地下式にするか陸橋式にするか、まずは仮設計を行ない早期着手すべきだ。

建設部長 本路線は、中心市街地の交通渋滞を緩和する重要な路線として認識しております。小田急線との交差や恩田川と接する部分の整合性、既存道路との取りつけなどの問題が多くあります。今後、極的に検討していきます。

建設部長 防災・安全交付金については、国から詳細が示された段階で採択基準等の内容を確認の上、市の事業に活用できるものについては積極的に検討していきます。

市民協働と政策
矛盾について

子育て世代へ外出支援の整備を

A circular portrait of a man with dark hair, wearing a dark suit jacket, a white shirt, and a dark tie. He is looking directly at the camera with a neutral expression.

自殺防止対策について

A circular portrait of a middle-aged man with dark hair, wearing a dark suit jacket, a white shirt, and a patterned tie. He is looking slightly to his left with a neutral expression.

都計道（南大谷）